



ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

アンダーフィラー弾性エクセル

低汚染形高耐候性水系改修塗装システム

特長

- ①シーラーとフィラーの機能を兼ね備えているので、さまざまな種類の既存塗膜に直接塗装できます。
- ②ヘアクラックに追随する可とう形改修用仕上塗材E主材です。
- ③1液形なので、水で希釈するだけで塗装できます。
- ④キメが細かいので、吸い込みが少なく、光沢のある仕上がりが得られます。



標準塗装仕様（塗り替え）

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下 地 調 整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去、清掃する。						
下 塗 り	ニッペ アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.3~0.6	4時間以上	水道水	3~6	ウールローラー
			0.8~1.3			1~5	砂骨ローラー
						2~5	タイルガン

（水性フッ素樹脂塗料仕上げ）

中 塗 り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上 塗 り	オーデフレッシュ F 100Ⅲ※1			—			

（水性シリコン系塗料仕上げ）

上 塗 り	オーデフレッシュ Si 100Ⅲ※2	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
-------	--------------------	---	-----------	-------	-----	------	---------------------

（水性ウレタン樹脂塗料仕上げ）

上 塗 り	オーデフレッシュ U 100Ⅱ※2	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
-------	-------------------	---	-----------	-------	-----	------	---------------------

・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
 ※1 つや有り、7分つや有り、5分つや有りから選べます。 ※2 つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消しから選べます。
 ※JIS A 6909 仕様の組みあわせについての詳細はお近くの営業所までお問い合わせください。

■適用下地

- コンクリート面(現場打ち) ●モルタル仕上げ面 ●ALCパネル
- 塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他日塗膜)

■適用塗装系

上塗り=水性シリコンセラUV・ファインシリコンフレッシュ・ファイン4Fセラミック
 オーデフレッシュU100II・オーデフレッシュSi100III
 オーデフレッシュ共通中塗+スーパーオーデフレッシュSi/オーデフレッシュF100III

■種類と容量

アンダーフィラー弾性エクセル

- ホワイト……16Kg

■JISA6909(可とう形改修用仕上塗材)にもとづく性能

試験項目	規格	性能
低温安定性	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れないこと	合格
付着強さ N/mm ²	標準状態	0.7以上
	浸水後	0.5以上
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと	合格
透水性B法 ml	0.5以下	0.1
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	合格
ひび割れ充てん性	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと	合格
耐候性A法	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合格
可とう性	ひび割れないこと	合格

■その他の性能

試験項目	規格	性能
水蒸気透過性	JIS Z 0280 透湿度 50g以上/m ² 24h	85
いためつけ試験後のクラック追従性(mm)	ゼロスパンテンション伸び量0.2以上/モルタル試験板	0.3

■使用上の注意事項(詳細な内容については、各製品の使用説明書などでご確認ください。)

- ①フィラーを薄膜仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
- ②規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
- ③開缶後放置するときは皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- ④弾性塗料は塗膜が伸びるのでクラック追従性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追従性を発揮できない場合があります。
- ⑤塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- ⑥本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用すると、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
- ⑦たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ⑧塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ⑨乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ⑩動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ⑪日塗膜に発生した藻かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ⑫既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- ⑬改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れやちぢみなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- ⑭風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ⑮シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ⑯素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ⑰蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ⑱表面のみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ⑲ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において単穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルション/パテの使用は避けてください。)
- ⑳内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ㉑素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ㉒新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ㉓塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ㉔屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ㉕塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ㉖塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に先行し、換気扇を回してください。
- ㉗飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ㉘シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペプライエフトNB3塗料を除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライエフトプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ㉙薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ㉚大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ㉛はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ㉜ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ㉝塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- ㉞汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ㉟ローラー、リールなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ㊱塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、よくかき混ぜてから使用してください。
- ㊲開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ㊳開缶後は皮張りやしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- ㊴大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- ㊵塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■安全衛生上の注意事項(ニッペアンダーフィラー弾性エクセルホワイト)

横倒禁止

- ①取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ②必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- ③吸入した場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。
- ④口をすすぎてください。
- ⑤施設にて保管してください。
- ⑥内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ⑦直射日光や水濡れは厳禁です。
- ⑧塗料などの缶の積み重ねは3段までとってください。
- ⑨吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ⑩本来の用途以外に使用しないでください。
- ⑪容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- ⑫日光が遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
- ⑬容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- ⑭塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ⑮容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 ■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

非該当	危険有害性情報
	1.水生生物に有害 2.長期継続的影響によって水生生物に有害

日本ペイント株式会社

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101 | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712 | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614 | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960 | |

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-X023

TY190512T

2019年5月現在